

# カリキュラムマップ (児童教育専攻)

児童教育専攻	1 年				2 年				3 年				4 年				
	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	
基礎 教育 科目	思考力の養成	情報処理法	①	情報活用法 統計分析法	①				問題解決法	①②	創造思考法	①					
	表現力の養成	英語 I (基礎) 日本語 I (読解、分析) 日本語 II (作文、論文)	① ① ①	英語 II (応用) 日本語 III (発表、討論)	① ①	英語 III (実践) 日本語 IV (プレゼンテーション)	① ①										
	人間力の養成	自己管理と社会規範 地域活動と社会貢献	①② ①②	他者理解と信頼関係	①②	チームワークとリーダーシップ	①④										
	社会力の養成										社会的・職業的自立 I	①			社会的・職業的自立 II	①	
	人間の理解	心理と行動 健康と運動	① ①				歴史と文化 民族と宗教	①② ①②							生命と倫理		①
社会の理解	社会と憲法	①②	法律と人権	①	政治と行政 経済と政策	①② ①								自然と環境		①	
専門 教育 科目	基幹科目	人間形成論 心理学概論 教育学概論 (幼・小)	① ①② ①②	対人関係論 道徳教育論 教育心理学 (幼・小) 教育行政学 (幼・小) 教職概論 (幼・小)	① ①② ①②③ ④ ②③												
	展開科目			保育原理	①②③	国語 算数 生活 音楽 図画工作 体育 外国語活動 教育課程論 (幼・小) 保育内容総論 子どもの心理学 I	③ ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ①② ③⑤	社会 理科 家庭 道徳の指導法 (小) 教育方法論 (幼・小) 保育内容 (健康) 保育内容 (人間関係) 幼児理解の理論と方法 子どもの心理学 II 児童家庭福祉 社会福祉 社会的養護 言語表現	③ ③ ③ ②③ ②③ ③ ③ ③ ③⑤ ④ ④ ③ ①③ ⑤	初等教科教育法 (国語) 初等教科教育法 (算数) 初等教科教育法 (生活) 初等教科教育法 (音楽) 初等教科教育法 (図画工作) 初等教科教育法 (体育) 児童・進路指導の理論と方法 (小) 保育内容 (環境) 保育内容 (言葉) 保育内容 (表現 I)	③ ③ ③ ③ ③ ③ ④ ③ ③ ③ ③ ③④ ⑤	初等教科教育法 (社会) 初等教科教育法 (理科) 初等教科教育法 (家庭) 特別活動の指導法 (小) 教育相談の理論と方法 (幼・小) 保育内容 (表現 II) 子どもの保健 II 子どもの食と栄養 障害児保育 社会的養護内容	③ ③ ③ ②③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③				
	発展科目						発達心理学 発達障害	⑤ ⑤	カウンセリング論 学校・学級経営 特別支援教育	③ ④ ③	学校心理学 授業観察演習 授業実践演習	③ ④ ③			チーム学校論	④	
	関連科目					行動科学概論 心理統計法 発育・発達論 医学・スポーツ医学	①⑤ ③④ ⑤ ③⑤	心理学基礎実験 社会心理学 臨床心理学 健康づくりの理論と方法 スポーツ指導法	③④ ③ ①③⑤ ①⑤ ③	発達臨床心理学 心理療法学 健康運動実践指導 I 生涯スポーツ I	③ ③ ③ ③	心理学実験演習 解剖学・機能解剖学 栄養学・スポーツ栄養学 心の健康と行動 運動プログラム管理 健康運動実践指導 II 生涯スポーツ II	④ ① ① ③ ⑤ ③ ③	生涯スポーツ III 地域スポーツ指導 I	③ ③⑤	コミュニケーション心理学 心理検査法 地域スポーツ指導 II	①③④ ④ ③⑤
	実習科目	初等教職体験実習 幼児教職体験実習	③ ③									保育実習指導 I 保育実習 I	②③ ①③④	初等教育実習事前事後指導 初等教育実習 幼児教育実習事前事後指導 幼児教育実習 保育実習指導 II 保育実習 II	②③ ①③④ ②③ ②③ ①③④	保育・教職実践演習 (幼) 教職実践演習 (小)	④ ④
研究科目													教育学研究法	⑤	卒業研究	④⑤	

【ディプロマポリシー】

- ①児童教育現場に求められる教養的知識を修得し、専門的職業人としての役割を果たすことができる。
- ②児童教育の理念、歴史、思想、制度に関する基礎的な知識と教員に求められる資質能力を修得し、児童教育者として主体的に判断し行動することができる。
- ③児童理解や教育相談に関する基礎的知識、技能とともに各教科に関する専門的知識、技能を修得し、児童教育現場において教育活動を実践することができる。
- ④児童理解や学級経営等に関する諸課題を探求し、修得した児童教育者としての基本的資質、能力を使命感と責任感をもって教育活動の実践に活かすことができる。
- ⑤心身の発達、学習の過程などの基礎的理論と専門的知識を修得し、教育研究を通して地域社会に貢献することができる。